

令和5年度第4回「北九州市健康づくり懇話会」議事要旨

1 開催日時

令和5年10月31日(火) 18:30~19:30

2 開催場所

北九州市役所3階 大集会室

3 出席者等

(1) 構成員

池本構成員、◎伊藤構成員、小畑構成員、河野構成員、小嶋構成員、木庭構成員、筒井構成員、永田構成員、永野構成員、長濱構成員、濱寄構成員、平川構成員、藤野構成員、古市構成員、松木構成員(50音順・敬称略、◎:座長)

(2) 事務局

保健福祉局、子ども家庭局、産業経済局、建築都市局、教育委員会

4 懇話会経過及び発言内容(要旨)

【次期プランの素案について】

これまでの健康づくり懇話会で議論いただいた内容やご意見を基に、(仮称)第三次北九州市健康づくり推進プラン素案及び概要版を作成した。

○歯科口腔保健に関するご意見

- ・乳幼児期～学齢期の口腔機能の維持向上についての内容をプランに盛り込んでほしい。
- ・学齢期の歯科衛生士による歯磨き指導の実施校数を増やすための対策を考えるべき。
- ・大人の歯周病対策として歯科検診の体制は整っているものの、推進を精力的にすべき(検診料無料を実現させてほしい)。

⇒国の国民皆歯科健診の取組みを注視しながら、切れ目のない歯科口腔保健を推進する取組みを実施していく。

○がん検診に関するご意見

- ・がん検診受診率のグラフの数値が解釈しづらい。掲載の仕方を検討した方が良くはないか。

⇒市町村がん検診の受診率のデータを掲載している。次期プランでは国のがん統計のように職域も含めた形の指標のとり方に変えるため、掲載の仕方を検討する。

- ・がん検診に対する取組み・熱意が欲しい。公衆衛生学的に言うと、がん検診を行うことで死亡率が下がるという、しっかりとしたエビデンスがある。

⇒がん検診の熱意を示せるように検討させていただきたい。

【次期プランのスローガン・キャッチコピーについて】

健康に関心が薄い層を取り込み、就労世代(若い・働き盛りの世代)に健康づくりに関心をもってもらうため、市のクリエイティブディレクターや健康づくりアドバイザーに相談し、プロのコピーライターに制作を依頼した。市の意向や主なターゲット、伝えたいメッセージ、市の特徴等について意見交換を行い、最終(案)が提示された。

○スローガン(案)へのご意見

- ・「健康に生きる」は、健康状態の悪い人には関係ないと思われぬか。気になる。
- ・プラン内容と乖離している気がする。トーンダウンしてもいいのではないか。
- ・どのように使うのか。
⇒概要版の表紙や素案の体系図の中に入れる。現在制作中のロゴも付けて、使う予定。
- ・「北九州市」のものとすぐにわかるようにした方がよい。(例)方言「○○っちゃ」等
- ・「活きる」の意図とは。
⇒「イキイキ」と活躍するイメージ
- ・「笑って活きる」はぜひ入れてほしい。
- ・最終的には、市が決めるものであることは承知している。

○キャッチコピー(案)へのご意見

- ・「36500 日時代」は、「100 年時代」のほうが分かりやすいのではないか。
- ・「ラブレター」は伝わりにくいと思う。「道筋」に変えたらいいかもしれない。
- ・市として市民がどんな生き方をするかという死生観のようなものを織り込んだ方がよい。

○その他のご意見

- ・「大気汚染を克服した歴史がある」は、ちょっと生々しいので、いかがか。
- ・「やんちゃ」や女性の写真はいかがか。
- ・水と空気が良いのが本市の特徴なので、風光明媚なところを入れてほしい。

⇒いただいたご意見を基に、全ての意見を盛り込むことは難しいが、内容については検討したい。